

北海道駒ヶ岳の火山活動解説資料（令和4年5月）

札幌管区気象台
地域火山監視・警報センター

火山活動は静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○活動概況

・噴気など表面現象の状況（図1-①～③、図2～3）

山頂に設置した監視カメラによる観測では、昭和4年火口のごく弱い噴気が確認された日がありました。噴気活動は低調な状態です。

・地震及び微動の発生状況（図1-④～⑥、図4）

火山性地震は少なく、地震活動は低調な状態です。
火山性微動は観測されていません。

・地殻変動の状況（図5）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められません。

この火山活動解説資料は、気象庁のホームページでも閲覧することができます。

https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokujii.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、北海道大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び北海道のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』、『電子地形図（タイル）』を使用しています。

次回の火山活動解説資料（令和4年6月分）は令和4年7月8日に発表する予定です。

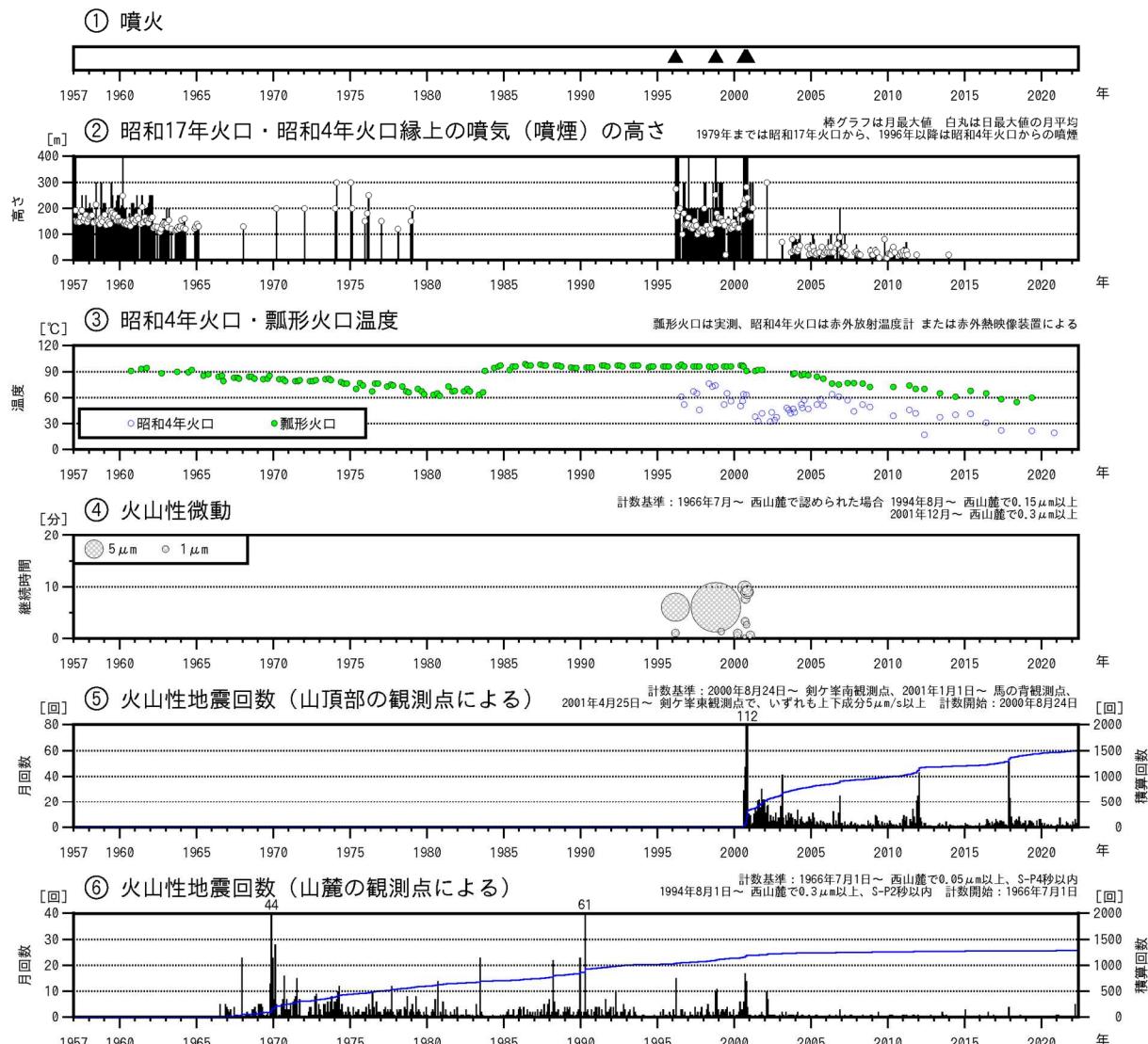


図1 北海道駒ヶ岳 火山活動経過図（1957年1月～2022年5月）



図2 北海道駒ヶ岳 火口周辺図

図3 北海道駒ヶ岳 西南西側から見た火口周辺の状況
(剣ヶ峯監視カメラによる)

震央分布図

This map shows the distribution of seismic epicenters (indicated by '+' symbols) around Mount Koma. Labels include:

- 昭和4年火口 (Showa-shisan-karaku) on the left.
- 剣ヶ峯 (Kotakidake) at the bottom left.
- Contour lines and a scale bar indicating 2km.
- A latitude/longitude coordinate 42° 05' is shown on the left.

時空間分布図（南北投影）

This scatter plot shows the spatial and temporal distribution of seismic events. The vertical axis represents time from 2005 to 2020, and the horizontal axis represents space. Events are represented by small circles, and seismic stations are marked with '+' symbols.

断面図（東西投影）

This cross-section diagram shows depth (km) on the vertical axis (from -2 to 3) versus distance (km) on the horizontal axis (from -2 to 3). Events are plotted as circles, and seismic stations are marked with '+' symbols.

深さの時系列分布図

This scatter plot shows the depth distribution of seismic events over time. The vertical axis represents depth (km) from -2 to 3, and the horizontal axis represents time from 2005 to 2020. Events are represented by small circles.

図4 北海道駒ヶ岳 火山性地震の震源分布（2002年12月～2022年5月）

●印：2002年12月～2022年4月の震源

+印：地震観測点

・今期間は震源が求まった地震はありませんでした。

- 3 -

北海道駒ヶ岳

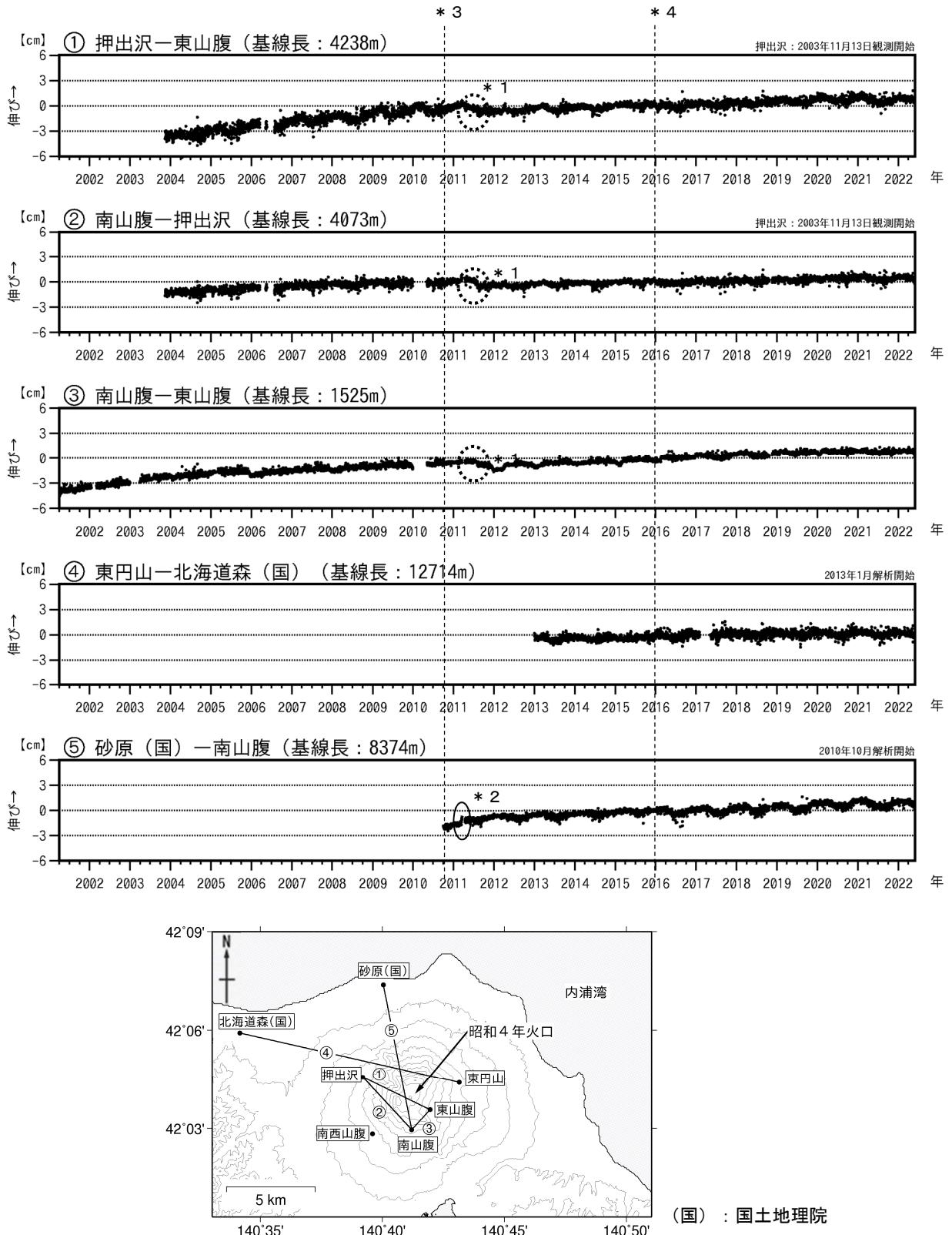


図5 北海道駒ヶ岳 GNSS連続観測による基線長変化（2001年4月～2022年5月）及び観測点配置図

グラフ①～⑤は観測点配置図の基線①～⑤に対応しています。

グラフの空白部分は欠測を示します。

①～③の点線円内の変動 (* 1) は、2011年8月の機器更新によるものです。

⑤の楕円内の変動 (* 2) は、2011年3月11日に発生した「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」の影響によるものです。

2010年10月 (* 3) 及び2016年1月 (* 4) に解析方法を変更しています。

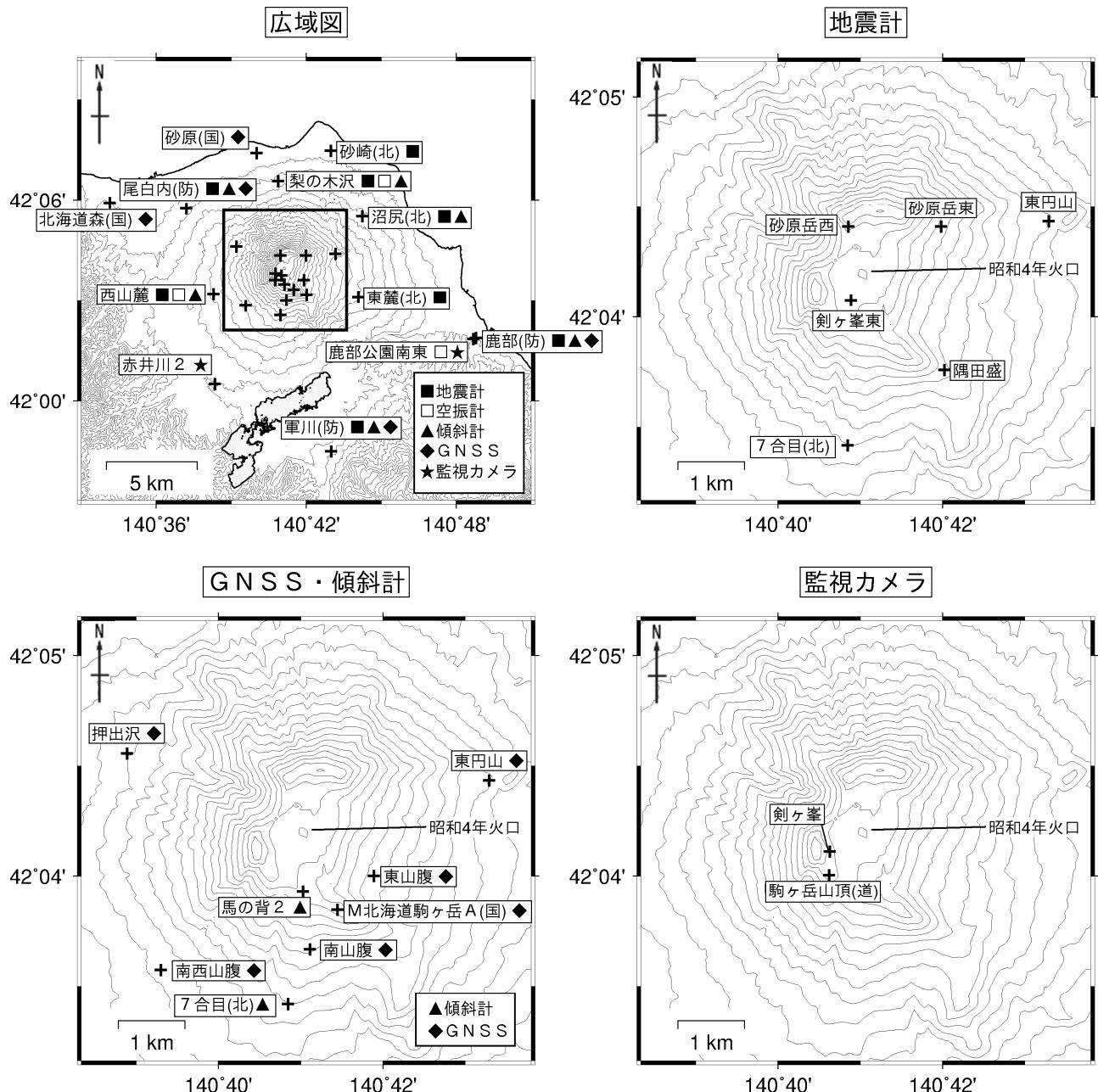


図6 北海道駒ヶ岳 観測点配置図

各機器の配置図は、広域図内の太枠線で囲まれた領域を拡大したものです。

+印は観測点の位置を示します。

気象庁以外の機関の観測点には以下の記号を付しています。

(国) : 国土地理院

(北) : 北海道大学

(防) : 国立研究開発法人防災科学技術研究所

(道) : 北海道